

トロント新移住者協会

www.torontonjca.com torontonjca@yahoo.co.jp

NEW JAPANESE CANADIAN ASSOCIATION c/o JCCC, 6 GARAMOND COURT, TORONTO, ONTARIO, CANADA M3C 1Z5

## Merry Christmas and A Happy New Year

Yoshi Nagaiishi 会長 長石芳尚



久しぶりの巻頭言です。いささか早いのですが、この109号で「にゅうすれたあ」2008年を締め括るに当たり、会員、理事並びに役員、さらに各種の催しにボランティアとしてご支援いただいた皆様に深く感謝申し上げます。今年もいろいろなことがありましたが、何と云ってもJCCCの中にNJCAの拠点を造ろうという決議をしたことがNJCAの歴史始まって以来の思い切った企てとなりました。これが実現し継続するためにはNJCAの会員の皆様だけでなく、日系社会全体の皆様からご理解とご

支援、ご協力を得なければなりませんし、ご理解が得られるかどうか今後のNJCAの継続存立自体も懸かって来ると考えております。

我々の大先輩たる市協一世部は既に解散し、活動を停止しています。一時、英語でなく日本語を話し、理事会、役員会、年次総会を全て日本語で通す先輩団体の市協一世部をNJCAが継承する話もなかったわけではありませんが、カナダにおける経験も全く異なるため其の活動を継承するのはおこがましいという立場から立ち消えになりました。しかし、交流を図り、ご経験等をお伺いするための懇談会は何度か開催してきましたし、理事会名簿に名を入れていただく栄も戴いておりました。

ひるがえってNJCAの将来を思う時、どうしても新移住者の皆さんがカナダに移住してこられた経緯を思い起こさなければなりません。我々新移住者はおおむね「一匹狼」なのです。NJCAの発足当時はさすがの一匹狼もJCCC旧館に集まって慣れないカナダ生活の不安、不満、寂しさを共通の日本語を介して紛らわせ、お互いに励ましあっていたのでしょう。しかし、平成20年代の新移住者はあらゆる環境に恵まれているので1970年代の新移住者が時として感じた不安を感じることもなくカナダは泰平天国なのかもしれません。

しかし、ブラジル等と異なる不幸な歴史的経緯が原因でカナダにおける日系人が大きく2つに分かれている事実があることを踏まえた上で夫々が日本文化をカナダに保存する努力を重ねてきたという事実をお互いに認識して今後更なる協力体制を築く事が単に日系人のみならず米国の一国主義の弊害が明らかになった現在、カナダのみならず世界平和に寄与する所だと思っております。

上に書いたとおり、本年度のNJCA理事会が敢えてJCCC内にNJCAの活動拠点として部屋の確保を決議したのは正にこの目的なのです。NJCAの今後を考えるに当たってJCCCと融合する事も検討されましたが、日系3世が主流となり、英語を公式言語とする現在のJCCCと合流する事は現住の新移住者と将来渡加して来る新移住者の日本語と日本文化の地位を担保出来ない惧れがあるとの考えから財政的には大きなリスクがあることを承知でJCCCから約1,200スクエアフィートの部屋を賃借する事にしたので

す。賃借料は年間約16,000ドルという確固たる収入源を持たないNJCAとしては極めて大金です。しかしこの決意をNJCA執行部は極めて重大かつ歴史的に有意義な決定だと考えております。皆様にこの決断の意味する所をご理解戴き、其の実現に対してのご協力を切にお願い申し上げます。

現在、NJCAは最終的な改修計画を推し進め、其の完成の為に多額の資金を必要とするJCCCが今後とも日系社会の誇りある日本文化センターとして健全に其の役割を担い続けられることを願って、NJCAは勿論ですが、むしろJCCCの会員を新移住者の中から掘り起こす呼びかけを行ってJCCC活動の裾野と小額とはいえ財源の拡大への支援を目指しております。この異例の活動を始めた主な理由ですが、それは主として上に書いた新移住者は「一匹狼」だということに端を発しています。即ち、新移住者を含めNJCAの会員はこの30数年間旧JCCC時代から新JCCCに到るまでJCCCから大きな有形無形の支援を得てきましたし、日本語と広く日本文化に関しては大きく貢献してきたと思うのですが、あいにくこの多大の支援がどちらかというと個人ベースでJCCCからの要請に対応してきた経緯があるためNJCA会員からの支援であってもJCCC側から見ると、新移住者の一組織であるNJCAからの支援であるとの認識はほぼ皆無ではなかったかと思えます。従って、現在其の端緒についてJCCC内にNJCAの活動拠点をもち、まずは新移住者としてのまとまりを計る事が将来のトロントにおける日本語と日本文化の砦を確保する唯一の途ではないかとの結論に到った理由でなのです。JCCCを新移住者が持つあらゆる力で支援を続けることは大切な事ですが、同時に、新移住者グループとしてJCCCの文化活動に発言権を確保できるようにもすべきではないかと思うのです。賃借契約は其の端緒にあり具体的な契約には未だ到っておりません。新年を迎える頃具体化してゆく事になりますので皆様には随時ご報告いたします。

部屋の確保が実現すると、かえて文庫の安定開館、NJCA並びに関係諸団体の備品、資料等の一括保管が可能となり、JCCCの賃貸事業計画に煩わされないNJCA独自の各種会計計画を立てることが出来ます。勿論、BBQパーティーやお正月会はこれまで通りJCCCからほぼ全館を借りて開催する事には変わりありません。其の上、若者や新しいグループ活動のインキュベータとしてその誕生を助ける事が可能になりますから、将来のNJCA後継者がこの中から生まれないとも限りません。其の会員の特質から市協一世部が会員と執行部の高齢化により解散に追い込まれたのと異なり、NJCAは新移住者の来加が続く限り本来なら古今永劫に其の活動は継続されるはずですが多分この考えは極めて楽観的過ぎると思えます。今の段階で手立てを考えておく必要があるというのもJCCC内の活動拠点の確保なのです。どうか、NJCAとJCCCへのご支援をよろしくお願い致します。

どうぞ皆様には良い新年をお迎えになりますようにお祈り致します。





以上どうか現在の JCCC のこの立場をご理解いただけますようお願い申し上げます。今後とも“文化がわかる。心がかよふ。”を共に推進していただけることを願っております。これからも変わらないご協力ご理解をよろしくお願い申し上げます。

皆様が健やかなる新年をお迎えになられますよう、日系文化会館一同心よりお祈り申し上げます。

JCCC 理事長 マーティ小林



これまで日系文化会館における財政状況について多くの質問が寄せられてまいりました。会館が利益を上げているというご意見とその一方財政難を懸念するご意見がございますが、現在の財政状況はその中間地点といえます。私たちは非営利慈善団体であり、毎年、収支が合うよう一生懸命運営管理に努めてまいりました。これまで過去10年間にわたり皆様からのご支援ご協力により多額の資金を集めてまいりましたが、すべて、これまでの会館設備運営と修復改築費用に充当されてきました。

新しく生まれ変わった会館は効率的に管理運営されていますが、毎年\$1,250,000 の運営費が必要とされています。政府からの財政的支援はわずかなもので、コーポレート・コミュニティレンタル、クラス費、寄付、特別行事そして会員費が主な収入源となります。

会館施設充実のための施設維持管理プロジェクトの資金調達案として各年収益の一部積立を将来的に計画しております。定期的な施設維持プロジェクトの他、それらに加え新しい屋根、駐車場整備、煙突修理など大規模なメンテナンスに備えた計画的な財源の積立等が課題となっています。

また、我々の新たな課題として、最終段階である2階拡大改築費用と1階の新キッチン費用の捻出があります。過去に建設資金なしでこのような大規模な拡大工事を施工したことはありませんでした。しかし、この最終段階工事においては、数年前政府より日系文化会館へ2008年工事終了の期限つきでおよそ\$1,000,000 の助成金が約束されました。すべての助成金を失うことを避け、銀行から資金を調達してまでも会館完成最終段階に着手を決意したことは賢明な決断だったと思われます。現在、第3期工事費用として銀行から借り入れた\$1.5ミリオン調達に懸命に取り組んでおります。

将来的に会館2階の未使用スペースの効率的な運営方策案としてテナントの参入を募り、その賃貸料から発生する一定した収益を会館の拡大に伴う年間運営費用の増加と日系2世の人々の高齢化に伴う寄付の減少を埋め合わせに充てる必要性が検討されております。館内スペースの有効活用による収益事業は営利目的ではなく、人々の文化交流、また憩いの場である日系文化会館の運営を支え、会館をさらに充実したものにすることが目的です。そして、私たちの親そして祖父母たちが会館を築き上げた時の夢を支持し受け継いでいくことが我々の使命であると信じています。

我々日系文化会館一同は JCCC とコミュニティの皆様たちがここで協調的に存在し、助け合う一つの大きな家族であると考えております。それゆえ JCCC への寛大なご理解と財政的支援は私たち日本人・日系人コミュニティの将来への投資でもあるということをご認識していただけますようお願いいたします。施設使用料金に関しては、他の教会やコミュニティホールなどと競うことはできません。なぜならばこのような施設は教会としての目的が第一であり、施設利用料などからの利益は主な収入源ではありません。一方、JCCC においては、主な収入源である会員費と皆様からのご寄付だけでは運営費を補うほどにいたらないのが現状であります。それゆえ、増収策として積極的に様々なプログラムを催し、またレンタル部門に力を入れ施設利用費の増収を図ることにより会館運営を支えています。

## AJC 活動報告

太宰光子

1978年に発足した AJC も今年30周年を迎えました。

その間、紹介するプログラムも徐々に増え、現在18(茶道、学校、文字、住居、着物、おもちゃ、食物、折り紙、紙芝居、祭り、産業貿易、サムライ、俳句、書道、地理、日本の歌、クラフト、日本語)のプログラムになりました。

特に人気のあるのは、茶道、折り紙、着物、おもちゃ、産業貿易などで、また、サムライ・プログラムでは、一人一人が竹刀を持ち剣道の稽古の体験をすることが出来、これも高学年の生徒には人気が高くなっています。

学校から来る生徒は2クラス50人前後が多く、子供達一人一人にハンズオンを楽しんでもらいたいため、通常、2グループに分けてプログラムを見せしています。従って、活動場所も2ヶ所で同時進行の形式を取るの、会場確保は私達にとって非常に大切です。会場が無いことには活動は出来ません。幸いなことに、日本総領事館インフォジャパンのご好意で、お茶室とイベント・ルームを使わせて頂いています。また、JCCCのご好意で、剣道場と柔道場、プログラムによっては、多目的ルーム、ホサキルーム等、空いている部屋を使わせて頂いています。

活動が盛んな月は3月、4月、5月、6月で、9月は新学期が始まったばかりで、毎年予約は殆どなく私達会員の準備期間となり、新しいプログラムを作ったり、既存プログラムを改善したり、教材の整理をしたりします。10月は5校がプログラム見学で来館し、11月は9校の予約が入っています。

見学者も時代と共に変わっています。数年前までは生徒を引率する先生が、JET プログラムやその他の機会に日本に住んだ事のある方が目立ちましたが、今は生徒も先生も日本に留学したり、クラス全員で日本に旅行する時代になりました。

例えば、先日ピーターボローから訪れた高校は日本に姉妹校があり、クラス全員15名が日本に留学した経験があると言っていました。同じく、先月ミシサガからの私立校6年生はクラス全員30人で、この11月に2週間の日本旅行があり、姉妹校のある大阪を中心にホストファミリーとの交流、旅館などにも泊まり日本を体験してくるそうです。

インターネットの普及で日本のあらゆる情報も簡単に手に入れる事ができる時代になりましたが、私達 AJC は子供達を理解し、魅力的で楽しく、学習のニーズを満たす有意義なプログラムをこれからも提供して行きたいと考えています。

現会員数は11名ですが、他にもクラスや催しの手伝い、教材調達に協力して下さる方々がいます。この方々なしにプログラムは提供できません。又会員の顔ぶれも新移住者、2世、3世、そして新移住者の次世代も加わり、皆が特技や技能をAJCに持ち寄りプログラムに反映させています。日本の知識、日本文化の素晴らしさをオンタリオ州の全ての子供達と共有できたらと願っています。

NJCA 会員の皆様、あけましておめでとうございます。そして、はじめまして。私は榎本一仁と申します。2年半前にトロントにワーキングホリデーで来て1年ほど前に晴れて「移住者」になりました。

この4月より、NJCAの会員登録をしたのと同時に理事にもなりました(最年少理事です!!)。不束者ですが、これからよろしく願います。

さて、今日は私が所属している Japanese Visitors Association (JAVA)について書いてみたいと思います。

JAVAはJapanese Social Service(JSS)傘下の非営利団体で、2009年で設立8年目になります。

その当時、日本から来る若者(学生・ワーキングホリデー・ビジターなど)からトロントの生活に関わる問い合わせがJSSに頻繁にあり、会長の前川氏のすすめで、ちょうどその時にJSSで活動していた若いボランティアが中心となり、「若者による若者のための社会サービス団体」として発足したのがJAVAの始まりです。



スタッフもワーキングホリデービザ保有者・学生ビザ滞在者が中心ですので、代りの入れ替わりが頻繁ですが、「主にトロントに滞在している日本人(若者)のための組織」であることが、他の日加交流団体との違いであると思います。今年半期の主たる活動は以下の通りです。

- 3月 滝沢ゆうか先生を講師にお迎えして、タックスリターンセミナーを行なっています。毎回多くの人々で賑わい、難解な計算を終えて、税金が帰ってくるのとわかった時の喜びといった言葉では表しきれません!!
- 5月 JETAA(JET 帰国者の組織)と合同で High Park で花見を主催。酒が飲めないのが残念ですが、みんなでごはんを持ち寄り、スポーツやゲームをして楽しめます。
- 6月 ボートクルーズ。CJS,JCSA,JAPANADA,JETAA と共催して、毎年多くの日本人・カナダ人とオンタリオ湖をナイトクルーズして交流を深めます。船上のダンスに集中しすぎて湖上からの夜景を見忘れる人続出。

- 6月 JETPDO 参加。JETPDOとはJETプログラムで日本に行くカナダ人のための出発前説明会のことで、3日間連続して Japan Foundation で行なわれます。
- JAVAは毎年、日本で生活していくうえでのしきたりやマナーを芝居形式で紹介するのをまかされていて、2ヶ月前から台本を作り、練習に励みます。大道具や衣装ももちろん自前。随所に笑いを散りばめて、下手なコントより面白いこと間違いなし!もちろん日本の文化・作法もちゃんと説明しますので、単なるコメディではありません。
- 7月 (今年は6月)---- JCCCの夏祭りに模擬店を出展。毎年、焼きおにぎりを売って、稼いだお金でどんちゃん騒ぎ・・・じゃなくて来年以降の運営資金に積み立てます。今年は600個作ってすべて完売!経験不問 要握力!
- 10月 ハロウィンパーティ主催。毎年100名以上の人々にぎわいます。賞金付きのコスチュームコンテストはいつも好評!腕に覚えのある方、来年はぜひ!
- 通年 毎月第2木曜日に「パブナイト」を行なっています。カナダ人や日本人の友人を作ったり、語学の実践の場に使ってもらっています。最近、ダンスショー・ヘアメイクショー・ジャズライブなども行なっています。国籍・性別・19歳以上なら年齢制限なし!どなたでもお気軽にどうぞ。

この他にもいろいろな活動をしておりますが、それはまた次回以降に・・・。

今後のJAVAに期待してください!

JAVA ホームページ: [http://geocities.com/java\\_toronto/](http://geocities.com/java_toronto/)  
 問合せ先: [java\\_seminar@hotmail.com](mailto:java_seminar@hotmail.com)

日本語教育プロジェクトからのご案内



2008年度を括るに当たり、下記の通り、あと2回講演会を開催いたします。講演の対象は主として日本語学校で教鞭を取っておられる日本語教師ですが、お子さんを日本語学校に現在送っておられるとか、今後、お子さんを日本語学校へ送ることを考えておられる方々にもぜひ時間を作ってご参加戴きたいと思ひます。

- 2009年2月22日(日) 漢字の教え方ワークショップ  
小室郁子 先生 トロント大学 プログラム・コーディネータ
- 2009年3月15日(日) 教育現場での児童心理  
赤松 種 心理学博士 国語教室児童心理相談役、理事長歴任

開催場所はいずれも日系文化会館の会議室で時間は12時半から4時の予定です。

**みついし商店・サンダウンマーケット**

**日本食品**

日本送り用ギフト 承っております

**ビデオレンタル・雑貨**

<p>●スカーボロ店</p> <p>日~水 10:00~18:00 木・金 10:00~19:00 土 9:00~18:00</p> <p>4385 Sheppard Avenue E., Pearl Plaza内, Unit 15, Scarborough, ON, M1S 1T9 (Brimley &amp; Sheppard) ☎(416)496-9083/FAX(416)496-9084</p>	<p>●エトビコー店</p> <p>日~水 10:00~18:00 木・金 10:00~19:00 土 9:00~18:00</p> <p>826 Browns Line, Etobicoke Ontario M8W 3W9 (Evans Ave. &amp; Browns Line) ☎(416)251-7900 / (416)259-8260</p>
---	--

サンダースベリー 自然化粧品取扱店

OPEN:10a.m.TO 7p.m.(SUN:11a.m.TO 6p.m.)CLOSED:TUESDAY  
 730 QUEEN ST. W. TORONTO M6J 1E8 TEL. 416.703.4550 FAX. 416.703.8593

**JAPANESE FOODS & GIFT SHOP**

**SANKO**

http://www.toronto-sanko.com

日本送料のギフトあります



日本送りのギフトあります

日本食料品 みそ・しょうゆ各種 新鮮野菜 冷凍魚各種 スキヤキ肉 数の子厚布 いくら・とびこ 塩麩切身 冷凍えだ豆 和菓子各種 オーガニック緑茶

さくら米 炊飯器 和食うつわ各種 新刊雑誌・古本 MAXELL/バッテリー ペンテルペン テレホンカード ビデオレンタル 元気の源 元氣ドリンク 他たくさん!!

おにぎり お弁当 (週末) あります 活気のある人求む 土日働ける方募集中!

◆お～きな島国日本◆



日本は小さな島国だ・・・と世界の人は思っている。

当の日本人達までそう思っているのだから困ったものだ。

君達、日本人よ、目を覚ましたまえ。日本をヨーロッパに置くと、その面積はフランス、スペイン、スウェーデンに次いで4

番目に大きな国になるんだぞ。しかもその長さたるや南はジブラルタルから北はスウェーデンの南部に達する。このうなぎの寝床を小さな島国などと呼べるかね。

日本の半分にも満たない英国が恥ずかしげもなく堂々と「グレート・ブリテン」とのたもっているではないか。

僕はカナダで堂々と言っている。

「日本はお～きな国だ」

カナダ人に対して言っているのだから僕の自信の程がお分かりだろう。

あなたも恐れることはない。両手を広げ、お腹を突き出し、そっくり返って堂々と言いなさい。

「日本はお～きな国だ」

◆日本は真っ黒だった◆



そのお～きな島国日本を8年ぶりで訪れた。緑の5月。

日本に着いたその夕方、早速母に会う為8年ぶりで日本の地下鉄に乗った。

ん？ 何かが違う。何が・・・色？

あっ、背広・スーツの色だ。老いも若きも男性も女性も真っ黒だ。

8年前に来た時は、特に若い人達は男性も女性も濃紺だった。そ

れが(僕にとっては)一夜にして真っ黒に。

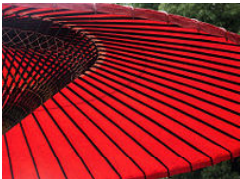
夕刻、真っ黒な上下スーツの若者が真っ黒な上下のスーツの女の子と手をつないで町を歩いている。仕事が終わってからのデートだろうが、奇妙な光景だ。

今回日本で新しいスーツの上下を買った。苦勞してやっと何とか明るいグレーを見つけた。とにかく黒か暗いグレーばかりで、日本の「流行」の完璧さに感嘆した。濃紺はひとつもなかった。

日本一億総「真っ黒クロスケ」。

なのにこの変化に気がついてきた日本人はひとりもいなかった。

◆頭隠して尻隠さず◆



秋田県仁賀保町の養父の墓参りに行くのが今回の日本旅行の目的のひとつだった。

朝早く東京駅に。JRパスで指定券を買った。

ホームに上がる前にトイレに。

なぜかピカピカの「ポッチ」がどの男性便器の横にも付いている。何だろうと不思議に思っている僕の目の前で隣に来た男性が(女性である訳ないよね)ヒョイッと雨傘をそこにかけた。

な～るほど・・・。

日本人のやることはすべて行き届いているなあ、と深く感慨にむせびながら洗面所で手を洗い・・・、あらっ、ペーパータオルも乾燥機もない。

仕方ない、ズボンで手を拭いて、と言うのはウソ。8年前にこれにこりたので、今回はちゃんと(タンスの底をひっくり返してやっと見つ

けた)ハンカチを持って来ていたのでした。

それにしても雨傘の「ポッチ」を付けるほど気を配っていないながらペーパータオルも乾燥機も付けていないのは「頭隠して尻隠さず」的な何ともちぐはぐな親切さであることよ。

◆西瓜の切れ端で電車に乗ろう◆



8年前に来た時は駅の改札の通り方が分からず、かなり観察してから意を決して流れに飛び込んだ。

今回は慣れたものだ。

切符に手垢を十分つけて改札機の手前の「爪」に食わせる。改札機は「何だ、この汚れた切符は」と向こう側にプツと吐き出す。それをつかんで他の日本人と同じように世話しなく急いで歩けばすべてOK、誰もが幸せだ。

油断大敵。

爪のない改札機が目の前に。と思うまもなく後ろから押されもまれ誰も不幸せ。

もう一度観察。

良く見るとそこには「スイカ」と書いてあり、緑の丸に黒い筋の西瓜の絵があって、人々は薄く切った西瓜の切れ端(と思う)をべたっと押し付け、世話しなく急いで歩いていく。

ふーむ。西瓜の切れ端で電車に乗れるとは思えない国だ。

◆驛の案内◆

8年前に日本へ行った時は駅の名前の案内は日英両国語。英語表記のお陰で駅の名前が読めるようになった。馬喰町、御徒町、神保町・・・。



8年経って駅の名前に韓国語と中国語が加わった。

えっ？ なぜ漢字の駅名に中国語が必要？

良く眺めると中国漢字は余りにも単純化されてアルファベットのようだ。日本の國はその点、基に近い漢字を割合良く傳えてゐるよね。寫眞は東京驛のもの。中国の若者の読めない古い漢詩も日本の若者は読める(かな)。

さらにまた8年経って日本へ行ったらまた増えているかな。ペルシャ語とロシア語、とか。

大昔ギリシャの神様が世界の神様を呼びよせ、アルファベットを与えた。神様達はそれを大事に持ち帰り、アルファベットは多くの国の文字になった。ロシアの神様は帰る途中ウォッカを飲みすぎアルファベットの箱を落としてしまった。飛び散ったアルファベットをあわてて拾って適当に箱に戻した。ロシアのアルファベットが変なのはそれが理由だと、さ。

◆スイッチのある人間◆



人がアリののように右往左往する駅の、原子力発電所のコントロールパネルより凄いい切符販売機の前にひとりの女性が黄色いファイルを抱えてじっと立っていた。制服を着、帽子をかぶっているのがホームレスではない。誰かを待っているのでもなさそう。マイムの達人でももう少し動くだろうと思うくらい動かない。

子供を連れた家族が切符を買おうと原子力発電所のコントロールパネルを見上げ、指をさしては何かしゃべっていた。突然その女性にスイッチが入り、つかつかとその家族に歩み寄り、切符を買う手助けをし、さらに黄色いファイルを広げて何かを説明した。終わるとつかつかと自分の守備位置に戻りスイッチを切った。な～るほど・・・。

皆さん、彼女を見かけたら知っていることでも無理して尋ねて、もつとスイッチを入れてあげようよね。

次号へつづく

## 雀の親子を（ちょっと）助けた話



川村敦子

ある晴れた清々しい春の日、私はバルコニーに通じるドアを全開にして、朝日を受けて銀色に輝くオンタリオ湖を遠くに眺めながら、気持ち軽やかにこうしてにゆうすれたあの記事を打っていました。

ふと見ると、雀の親子と思われる二羽のうちの一羽がバルコニーの内側に入り込んで出られなくなっています。我がアパートのバルコニーは下半分が赤レンガ、上半分がガラス張りになっていて、外側にいる親雀が何とか子雀を連れ出そうとするのですが、親子は完全にガラスで二分されていて、それを知らない子雀は目の前にいる親雀の元に行こうと何度もガラスにぶつかる動作を繰り返しています。

くちばしが傷つきでもしたら大変、早く助けてあげなきゃと、子雀に近づいていくと、ばたばた逃げていた子雀が突然ぱっと私の視界から消えたのです。バルコニーの外に出るには一度上に高く飛んでからでないといけません。それを私が見逃す筈は無く、きっと家の中に逃げ込んだに違いありません。

さあ大変、一旦家の中に入ったら雀はひとりで外に出る事はできません。家の中を子供の部屋からバスルーム、筆筒の後ろやベッドの下までくまなく探したのですが、見つかりません。きっと無事飛んで行ったのだらうと気を取り直してまた原稿作成の仕事に取り掛かりました。

30分ぐらい作業を続けたでしょうか。おかしい、やっぱりおかしい。異様に家の中の空気がしんとしているのです。あたかも誰かが家の中に潜んでいて、こちらの様子を窺っているような。先程の状況を回想してみたのですが、私に追いまわされての逃げ道はやはり家の中しかありません。

私は一旦バルコニーに出て状況を再現してみました。そしたらいました。家の中の、バルコニーから対角線の突き当たりに置いてあるテレビの後ろにいました。ほっとして捕まえようとする、今度は台所の食器棚の上に飛んだのです。私の心臓はどっかどっか鳴り始めました。食器棚は台所の壁三面にコの字型に取り付けられており、両脇の角の継ぎ目に5センチ位の幅の、丁度雀一羽が入れるぐらいの隙間が開いています。この隙間に逃げ込まれたら一貫の終わり、もう助けようがありません。どうかそこには入らないでと、そりそりキッチンカウンターに上った私が近づいていくと、なんと子雀はその小さな隙間に入り込んだのです。

私はもう頭に血が上り、どうしよう、どうしよう、この子雀はここでミイラになるしかない、とカウンターの上から転げ落ちなかったのが不思議なくらいの超パニックで、それでも何とか床に下りて見上げると、本来塞がれている筈の隙間の底が、子雀が逃げ込んだ方は蓋がされておらず筒抜けになっているではありませんか。この時程、最近新しく取り付けられたこの食器棚の手抜き工事に感謝した事はありません。

子雀は隙間から滑り落ちて電子レンジの裏にいました。もう逃げる力も無くなったのか観念したのか、私が掴んでもおとなしくしていました。未だくちばしが黄色い黒い目がくりくりした雀の子です。私は安堵したもの、こんな小さな生き物にまで人間は嫌われているのか、と子雀の体温の温かさを手のひらに感じながら悲しくなりました。

バルコニーから子雀を放してやると、どこで見守っていたのか、親雀がぱっと飛んできて一緒に並んで遠く飛んで行きました。本能と言ってしまえばそれまでなのですが、一時間以上も子雀を案じてどこ

かでずっと待っていた、親が子に対する情がこんな小さな雀にも有る事を知って、非常に感動させられた出来事ではありました。

それから暫くして息子が日本語学校から帰って来たので、昼食を取りながら先の一部始終を話して聞かせました。「だからね、そのうちにウジが湧いてミイラになった雀と一緒に共存するのよ。」息子はわあーと泣き出して、引越す、このアパートを今日引越す、と取り乱しています。なんとあの親雀とは対照的な母親でしょう。この意地悪な母親に親雀のつめのアカでも煎じて飲ませたい心境ですね。

## How far would you go to protect your family?



掛川彰信

いささか旧聞に属しますが (Toronto Star, 4/4)、暗いニュースの多い昨今の記事の中に見つけたこの話題は、雲に覆われた灰色の空から差し込む、一条の太陽の光にも似て大変心暖まるエピソードでした。

これは一人の父親が自分の全知識 能力、そして財産と2年の時間を費やして、娘に掛けられた容疑を晴らした物語です。

当時12歳で、優等生だった娘は近所の家でベビーシッターの仕事を引き受けました。ところが、ある日昼寝から覚めた子供は、抱き起こそうとした娘の手をすり抜けて、階段から転げ落ち頭を強打して死亡しました。当初は事故として処理されましたが、疑問を抱いた検死官は、虐待の疑いがあるとして解剖しました。その結果これはいわゆる Shaken Baby Syndrome (揺さぶられっ子 症候群)と判断され、娘は Manslaughter (殺意なくして不法に人を殺害した罪)の容疑で起訴されたのです。

この結果に不服な父親は、当時 Falconbridge Mining (鉱山会社)の冶金学研究者でしたが、Infant Head Injuries と Shaken Baby Syndrome との違いを徹底的に調べる為、自分のあらゆる知識、能力を駆使しその後の全ての余暇の時間を、その究明に当てたのです。

さらに、文献を読み、世界中を探索して見つけた19名のその道の権威や、専門家に連絡をとり、この死はS.B.S. ではなかったという確たる証明を得ました。のみならず、彼は9名の専門家たちを空路、自費で呼び寄せて、証言を依頼したのです。しかしながら、この為の多額の調査費、旅費、滞在費負担の故に、家売り自分の全財産を費やして自己破産を余儀なくされ、娘も小さな町 (Timmins) の出来事故に衆目の対象となり屈辱の日々を経験しましたが、父親の自分が持つ可能性の全てを賭けた献身的な尽力のお陰で、判決は最終的に無罪になったのです。

この判決がいかにも、素晴らしい人的、物的証拠に支えられたかは、彼女の弁護士の言葉が全てを物語っています。  
「No courtroom lawyer has ever enjoyed a better assistant than I did」

この父親にしてこの娘ありで、彼女もその後、正常の生活をとり戻し大学で2つの学位を取得して、順調にキャリア ウーマンとして活躍しているとの事です。

言うまでも無く「How far would you go ……」という家族愛の原点とも言える問いかけに、彼の答えは、唯一つ All the way です。そして最後に “Innocence. There is no price for it. It’s simple as that” と明快に結んでいます。

人生は出会い⑤  
あなたの席はないものと覚悟しなさい!

マーナ豊澤英子

朝の 10 時、リハビリテーション体操の音楽が流れ、他の病棟に移動した患者までがこの時間になると集まってきていた。「貴女の病棟は変わり者のナースやら患者やら、何かしらと人が集まるねえ。」と友人の師長。「まるで吹きだまりに・・・ではなくて、温かなオアシスにやって来るのよ。」と私は切り返す。患者のために病棟で行えるリハビリ体操を考案したのが予想以上に好評で、入院患者の日課として定着し始めていた。

私も一緒に、と思っていた矢先に看護部長からの電話。思いがけずにかかる電話でよいことがあった試しはない。先日「貴女の部署は年休消化が一番多いね。ゆとりがありそうだから外来に応援に行ってもらおうかしら。」と切り出されてしまった。「神経内科の患者は日常生活に手助けがいる方ばかりです。ナースは排泄、食事、入浴介助にくたくたになりながらも文句一つ言わずに働いています。私はその姿に感謝しています。彼女らが心身ともに疲れ果てたら、安全で安楽なケアを提供することはできません。日頃の残業も多いのですから、最低の休みは取らせたいのです。」と一歩も譲らず、部長の心性を悪くしたばかりだった。新人で 15 日、経験者で 40 日は取れるはずの年休。一番多いと指摘されても消化日数はたかが 10 日。もっと消化できる方策を、と欲していたくらいだった。

看護部にも事務部にも、休みを取るのとはんでもないという伝統的な考え方が根強くあった。看護部長が我病棟の詳細を覗きに來るわけではないので、私の方針で自律した働き方のできる職場環境へと大きく変わりつつあった。しかし、それも時間の問題で、やがては彼女の知るところとなろう。師長会 23 名(31 ~ 59 歳)の末席に座っている。つまり私は一番若い師長だった。明確な規定はないものの、病院開設以来 35 歳が師長会の資格とされていた。ところが私がなぜか仲間入りしてしまった。その当時には珍しい、年功序列にこだわらない思い切った人事だった。それだけ看護部長の期待も大きかったのだと思う。しかし、スタッフナースとしての能力と管理者としての能力とは異なる。私が管理者としてどのような能力を発揮するかは部長にも私自身にも未知だった。月日が経つにつれ、看護部方針と病棟運営の狭間に立たされる中間管理者の大変さを感じるようになっていた。

ドアを開けると、部長は間髪入れずに「この原稿は何ですか! 貴女は病院の恥になるようなことをよくも平気で書けるものですね。」と声を荒げた。数日後に迫った九州全域の救急ケア学会シンポジウムの原稿だった。いずれの県も救急搬送がうまく機能せず救命率が問題視されるようになっていた。医師、ナース、消防隊、地域の行政担当など関連する領域が初めて一同に介する、画期的なシンポジウムだった。私は神経内科病棟へ配置転換になる前は外来救急部門チームとしてこの課題に取り組んでいたため、大学病院代表としてのシンポジストを喜んで引き受けた。地域救急システムを改善する、またとないチャンスであった。今朝、その原稿を部長に提出したばかり

だった。

「私はこの数年間たくさんのケースを直接に経験してきました。二次、三次救急に関する消防隊との連絡体制、迎える病院側の当直体制、大学病院内の連携(救急外来～手術室～集中治療室～病棟)など、それぞれに課題が山積しています。何が、どのように問題なのかを明確にするための事例分析なくして、それを打開する方策は生まれてきません。核心にあるものをオブラートに包み込むような発表では意味がありません。発表者として、自分の言葉でない原稿を読み上げることはできません。」と、気持ちを率直に語った。

大学病院だからこそシンポジウムを主導するほどのリーダーシップを発揮すべきであり、初めて包括的地域医療の視点で救急体制が語られる大事な場になる、と確信していた。部長はその後も原稿を修正するように迫ったが、私はそれを了承することはできなかった。代表を急に欠席させることはできず、発表原稿の内容も変更できない・・・部長は「わかりました。貴女がそこまで言うなら、私はもう何も言いません。ただし、学会からもどつたときに貴女の席はもうないものと覚悟して行きなさい。私はいつでも貴女を辞めさせることができます。」と、今でも鮮明に思い出せるほどの冷たい声で言い放った。何よりも許せなかったのは、そんな大事な発言を私に背を向けて伝えたことだった! 何と卑怯な態度、なぜ私の目を見つめてきちんと伝えないのか、なぜ弱い立場にある部下の気持ちを推し量ろうとしないのか。その瞬間、私は心に誓った。「私は決してこのような態度を部下にはとらないぞ! 貴女のような管理者にはならない!」

我病棟へと帰る道すがら、やれやれ困ったことになったと思ったものの、部長との一問一答に後悔はなかった。悪いことをしていないのだから辞めさせられるはずがない。とは言え、全ての人事権をもつ彼女のことだから、誰もが行きたがらない部署へ左遷させられることは間違いない。頭が切れるだけではなく、管理手法に非情な面を感じさせる人でもあった。あ～あ、やっとな神経内科病棟の様々な取り組みが軌道に乗り始めてきたというのに・・・

シンポジウムでは活発な意見が交換され、大盛況の内に終了した。月曜日の朝、ともかくまず報告するために看護部を訪室した。何としたことか、彼女はニコニコとしていた! 「日曜の夜に友人の看護部長が電話してきて{貴女の病院の発表は非常に素晴らしかった。事例検討は理論的で問題がきちんと整理されて・・・あれほどのスタッフをもっている貴女が羨ましい}と言ったのよ。それに、さっき廊下で集中治療部長に出くわしたら{豊澤さん、これまでの経験に基づいてきちんと意見を述べていたよ。彼女の発表でシンポジウムが活きたものになったね}と喜んでたわ。」

自分が発した言葉をよもや忘れていたわけではないだろうが平然としたもの。褒めてほしいとは思わないが、こういった時にねぎらいの言葉の一つでもあれば、部下の学習や研究意欲はもっと高まるというのを。

反面教師の存在も時には大切。その中で自分自身の看護哲学や看護方針を試され、管理者としての意思決定能力を磨くことができる。さて、左遷問題は(?)まずは一件落ち着いたかのように見えたが、二人の間に流れる河はますます大きくなっていく気配が・・・

**デリバリーご注文うけたまわります**

- ◆ 寿司、刺し身、自家製スモークサーモン、定食類、麺類、丼物、種類豊富な一品料理を御用意しております。
- ◆ 御家族連れ用畳部屋有り。各種テイクアウト致します。

**個人～団体様用パーティールームございます。**

**ランチタイム** 火～金 11:30～2:30

**ディナー** 火～木・日 5:00～10:00  
金・土 5:00～10:30  
月曜定休日

**日曜も営業!!**

■ 当店ホームページ [mikadorestaurant.ca](http://mikadorestaurant.ca) を御覧ください ■

**LICENSED**  
114 LAIRD DR. LEASIDE  
駐車場完備  
**TEL/FAX: 416-421-6016**

**みかど**  
オーナーシェフ  
梶田佳一  
**1978年創業**

**LEXUS** **TOYOTA**

**新装開店**

**ドンバレーノースのトヨタ部門が新築移転して営業開始!**

オールカナダ最大のショールーム(40台展示)、サービス工場(44ペイ、ドライブスルーサービス)、建坪104000sqft.  
(本社機能及びレクサス部門は現社屋のままで年末より拡張工事開始予定。)

**Don Valley North**

Canada's #1 TOYOTA & LEXUS Dealer Since 1973

**LEXUS TOYOTA** 海外拠点・創業35周年

- DON VALLEY NORTH TOYOTA** [www.dvntoyota.com](http://www.dvntoyota.com)  
3300 Steeles Ave. East, Markham (905)475-0722 友野
- DON VALLEY NORTH LEXUS** [www.dvnlexus.com](http://www.dvnlexus.com)  
3120 Steeles Ave. East, Markham (905)479-8555 横山
- MARKVILLE TOYOTA** [www.markvilletoyota.com](http://www.markvilletoyota.com)  
5362 Hwy #7, Markham (905)294-8100 田中
- LEXUS OF RICHMOND HILL** [www.lexusrh.com](http://www.lexusrh.com)  
11552 Yonge Street, Richmond Hill (905)883-8812 坂本
- TOYOTA COLLISION REPAIR CENTRE**  
391 John Street, Thornhill (905)886-0434 山口

## 僕の少年時代 - 両親の事

長石芳尚



今回は僕の両親について書いてみたいと思う。

基本的に、僕が大阪府泉南郡多奈川町緑ヶ丘の川崎造船所の社宅で過した小学校5年生の中途までの数年間、多分3,4年間、実は父親が最初からずっと在宅していたわけではない。

何時の頃からか、父は神戸の川重に単身赴任となっていたのであるが父がいないことを強く意識したことはなかった。毎日、友達と遊び、夕刻になって「ごはんだヨーウ」の声に家に入ってお腹一杯に食べれば、後は何をしたらか覚えてい

ないが、朝起きるまで寝た事は確かである。

その頃、父方の祖父母は祖母の九州は諫早にある親戚のお寺に厄介になって悠々自適の隠居生活をもう長年に亘って楽しんでいたが、時折、蒸かしたサツマイモの日干し、好きな釣りの成果の油目、サヨリ、アイゴ、近所の農家から得た大根やにんじんの干物などをどっさり送ってくれたもので今思い出してもそのときのうれしきかはっきりとよみがえってくる。因みに祖母の出身地は対馬で今も姉の子孫が大きなお寺の住職をしているようだ。

話を両親に戻すと、というわけである時期から父は平生は家には帰らなくなったのであるがそれまでは、新造船の進水式や試運転などが無い限りきちんと出かけ決まった時間に帰宅していたと思う。というのは夕食時間は毎日きっちり決まっていたからである。勿論、社宅に住む他の友人のお父さんたちも同じごろに帰宅するから自然に夕刻になると、あたりの家中から夕食を知らせる声がほぼ同時に聞こえたのだろう。

夕食を済ませると時として両親は斜め向かいの1つ上の上司、以前、紹介したマコちゃんやツウちゃんの住む社宅に僕の友達の1人の父親でダンスの先生、勿論川崎造船の社員を迎えてダンスのレッスンをするのだが、僕が目を開けているまに帰宅した事は1度としてなかった。

父は、随分ダンス、特にタンゴが好きだったようで、よく鼻歌で旋律を奏でたり、足の運びを描いた本のページを見ながら1人でこっそり練習しているのを見かけたこともある。

父の趣味の1つに、家庭菜園と鶏の飼育がある。まず、家庭菜園だが、きゅうり、エンドウ、ゴマ、落花生、サツマイモ、小芋、トマト、大根、とうもろこし、茄子、砂糖きび、小豆、大豆、おたふく豆を庭一杯と家から遠く離れた禿山のてっぺんの向こう側の斜面を1人で開墾して作っていた。山の畑に水を箱こぶ父の記憶はないが、江戸時代来の伝統的な肥料を天秤棒の両側にぶら下げて運ぶ父の姿は今も記憶にある。そう言えばずっと後で聞いた話だが、大戦が終わった

時、造船技師として働き続けた父が田舎での農業への転職を真剣に考えた事があるそうだが納得できる気がする。鶏は名古屋コーチンという種類で濃い茶色の羽毛を持つ鶏で白色レグホンより産卵率は落ちるが、卵良し、肉良しだそうで僕も1度だけそれまで何度と無く家の周りを何周も追いかけられた雄鶏を母の一声で正月料理に供する為に首を絞めて羽毛をむしたが、確かに自然環境で自由に走り回り、虫や雑草を気の向くままにたらふく食べて育った名古屋コーチンの肉はそれ以後味わう事が無い美味だった事を覚えている。それにしても僕がこの意図を持ってこの雄鶏に対峙した時、今度は僕を追いかけるのではなくドンドン逃げていった事が思い出される。

そしていつの間にか父親が夕刻になっても帰宅しなくなったある日、夜、ふと何かの気配か何かで布団の中の僕が目覚めて見ると、母が父の膝の上に居て、顔をお互いの近づけている。ああ、父さんが帰ったのかと思い2人が明らかに仲良くしている事を感じた僕がどんなに安心感と幸せを感じたことか…。僕は幸せを胸いっぱいにして直ぐに眠りに戻ったことだった。

今回はこれまでにしましょう。

## シングル介護者、介護者、手をつなごう。。



富美

最近では親一人子一人といった場合が多いですし、私のように夫婦のみ子供なしの場合でシングル介護の人たちも多いとおもいます。また働きながらの介護、また介護のために働けなくなった人たち、経済的にも働けない場合はより厳しいと思います。またその他多くそのようなケースが私の周りを見渡しただけでも2,3人はいます。

黙々と家で一人取り組んでいられる方も多いでしょう。事実私の場合も83歳の病気の夫を支え働きながらの介護で気が転倒しそうなときがあり夜も眠れない日が続くときがあります。

トロントにもいろいろな援助、施設、相談所などありますが、それらをフルに活用している人たち、またいま英語ができないために活用できないとか、情報が十分に入らない、忙しくて活用できないなど。。。情報交換もしたいですし、同じ思いを共有できる環境を作ることができれば介護者の皆さんの気持ちが楽になるのではないのでしょうか、時々集まりあったり、メールで互いの気持ちを交換し、支えあったり、支援の糸口を見つけあったり、介護者の不安心配、悩みなどを互いに話しあうだけでも精神的に安定するものだと思います。たくさんのかたがたが同じ思いではないかなど考え、又、私自身そのような集まりがあればどんなにいいかと常日頃思っていてこの呼びかけを実行することにしました。

シングル介護者、介護者、手をつなごう。。

連絡先: fumiog@rogers.com

**IKEBATA**  
NURSERY SCHOOL  
TORONTO CANADA

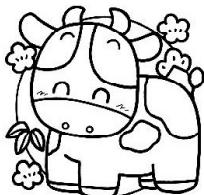
オンタリオ州認可保育園  
TEL: 416-510-1441  
トロント日系文化会館内  
www.ikebatanursery.com

### 日本語&英語プログラム

- ・18カ月～6歳前後(年齢別クラス)
- ・プログラム時間: 8:30am～4:00pm(時間外保育: 7:45am～6:00pm)
- ・日本とカナダの経験豊富な幼児教育資格保持者による指導
- ・少人数グループでの日本語・英語レッスン時間あり
- ・毎月の行事やお料理保育、遠足、発表会など豊富なプログラム内容
- ・給食、おやつ込み 兄弟・姉妹割引あり

### ボランティアスタッフ募集中

詳細は当ホームページをご覧ください



新鮮さ味一番!!



オーシャンフーズの練り製品をどうぞ!

- ◎かまぼこ ◎てんぷら ◎さつま揚げ ◎シューマイ
- ◎竹輪 ◎はんぺん ◎その他練り製品

日本食品店でお求めください

**Ocean Food** CO. LTD.

Since 1980

3 TURBINA AVE, TORONTO, ONT. M1V 5G3  
www.oceanfood.ca TEL.(416) 285-6487 FAX.(416) 285-4012

## 「ポンセン」つれづれ②



山本勝義

「ポンちゃん、どのようにすれば玄米がポンセンのかたちになるの？」  
「せんちゃん、稲穂を火の上にかざしたことがある？、燃えないように焼けているとおがパツパツと白く大きくはじけるんだよ」  
「ほら、よく玄米茶の中に混じっているでしょう。これは特別に何もせずはじけた状態で、澱粉がα化したというんだよ。」「こうなるととても消化吸収がよくなり、味もさくっとおいしくなるんだよ」  
「へえ～、ポンちゃんよく知っているね、でもはじけた後はバラバラでしよう。」  
「どうしてこのポンセンはくっついているの？」  
「それはね、熱い釜の中で押しえつけて膨らますから、はじけた時逃げ場がなくなってくっつきあうんだよ」  
「へえ～そうなんだ、じゃあ私たちも狭い熱い場所で一緒にいれば仲良くくっつくかな？」  
「そうなれば、名前だってポンとセンでポンセンじゃない？」「わたしはそうやってかまわないけど、どうポンちゃん？」  
「エッ???? (´\_ゝ´;)!!」(絶句)

このようにポンとセンのお話のように、釜の中ではじけてくっついた玄米がポンセン。特に最後の話のように人の場合はくっついて仲良く二人きりを「水要らず」なんて言いますが、ポンセンの場合くっつくのに適度の湿り(水分)が必要で、乾きすぎているとふくらみが悪くくっつきません。また逆に多すぎると釜の圧力に負けて底にべったりとしてできません。(このような状態になると「すいぶん(水分)じゃない!」(随分じゃない)といいたい。ー 鐘ひとつ、退場!)

ともあれここまで分るのに3ヶ月、たかがポンセンと思われましょが、されどポンセンです。何事でも極めようとする奥が深いものです。このあと一年ほどかかってやっと最初の試作機は完成。この後毎日会社の片隅でポンッポンッ実験焼き、毎午後玄米を水に2～3時間つけたあと網の上に干して帰り、翌朝その湿度を測り合格だったら試作機にいれ、実験焼き。いろんな時間と温度で焼いてみてどの設定がおいしく早く焼けるかデータ取り。

もちろん、このポンセン機の仕事は本業ではなく、朝晩と仕事の合間でやっていたわけですが、この実験で出てきた不完全なものを含めたポンセンの量は半端ではなく、ちょっと形は悪くても捨てるにしのばず、もったいないというのでよほど出来の悪いものを除いて最初は全部おなかに入れていたのですが、さすがに全部は食べきれず、かなり出来のよい部分は会社の連中に配りまくり、まだ余ったものは家に持って帰ったりしたものです。が、決しておいし～いと言うものでもなく、皆1回トライでおしまい。日ごとガベージバックがふくらんできてプクプクンになったところでお終い、思い切ってガベージBINに捨て去り、また続きを…そうでないパッケージしないで長く放置すると油が回ってきて匂いまでおかしくなることとなり、またネズミたちを喜ばせる結果になってしまいます。

(余談になりますがこのネズミというのは、どこからやってくるのかフルーツフライといっしょで、インダストリアルエリアで民家も近くないと多寡をくくっていたら、どこからとなく出没してくるものですね～ずみ。)ともあれ、このようにしてポンセン機の開発は終わり、製作にはいりその後2年ほどかかって30台ほど作ったのでしょうか。1台出来上がるたびに出荷前の試し焼きを経て各地の食品会社に出荷されていったわけですが、中にはカナダだけでなく、南米のベネズエラや、ドイツに渡ったものもありました。

この2台はとりわけ思い出深く、というのは2台とも現地ですまく作動しないというトラブルがあり、お陰でというかこのためにベネズエラとドイツに出張することになったからです。これぞまさしく温泉ならぬポンセン旅行と浮かれたところですが、ポンセン技師として修理に向かうとなると気が重くなったものです。

山本特有のだから文章が長くなってきたので結論から書きますと、ベネズエラに渡ったのは、上部センサーの位置が長距離移動時の振動でずれていただけで、現地到着後約一時間内で修理完了となったのですが、現地米との相性が悪く、どうしてもカナダで焼くよう

なポンセンの形にならず宿題を残したまま帰国。ドイツのは、やはりセンサーの位置ずれと、これは特注で小さなポンセンが3枚ずつ焼けるようにした試作機ですが、どうしても3枚そろっていい形で焼くことができず、調整の仕方を教えて現地で引き続き開発を進めてもらうようにして帰国。両方もあまり思わしくない結果に終わったわけですが、あえてここに出してきたのは、この双方の旅行が端的に言えば珍道中というか、書き出せばまた話が終わらなくなりそうなので次回に回します。

今回の寄稿タイトル予告「山本、スペイン語、ドイツ語を話す!」

## 「2009年度お正月会」開催



中山あつ子

「もういくつねると お正月 お正月には 風あげて こまを廻して遊びましょう はやく来い来いお正月!」

新移住者協会開催の「お正月会」がやってきます。今回は、国交80周年記念行事の一環として開催されます。プログラムには、餅つき、屠蘇のデモストレーション、書初め大会など盛りだくさんです。

そして、演芸プログラムでは、トロント芸能愛好会の企画が「お正月会」を盛り上げてくれます。太鼓、大正琴、三味線、日本舞踊、南京玉すだれなどが予定され、また獅子舞いの登場もあってその笛太鼓に合わせて踊る姿は人気を呼んでいます。さらに、昨年から目玉商品となっている「着物ショー」が今年も「お正月会」に色を添えてくれます。かるた、羽根突き、凧揚げも子供たちに大人気です。日本食、日本の古き良き時代のおもちゃなどの出店も勢揃いです。

日本文化の継承に繋がる「お正月会」に、ぜひお子さんお孫さん同伴でお越しいただき日本のお正月に触れてみては如何でしょう。そして、タンスの奥から着物を出して久々に袖を通すのもお正月気分になることができる良い機会です。皆様のお越しを心よりお待ちしております。

## 新移住者協会・2009年のお正月会



新しい年を日本の伝統的な風習と温かい雰囲気の中でお祝いしましょう。今年は日加修好 80 周年記念行事の一環として行ないます。お祝いのお屠蘇・書初め・お餅つき・獅子舞いなど、寿司・饅頭・たこ焼きなどの日本の食べ物各種、日本のおもちゃや各種の出店、さらに日本舞踊・大正琴・三味線・南京玉すだれ・着物ショー・太鼓・日本の唄などの盛り沢山の演芸プログラムがあります。子供先着 100 人にお年玉。毎年多くの参加者が着物姿で訪れます。家族・友達を誘って日本のお正月を楽しんで下さい。



日系文化会館協賛。

日時：2009年1月25(日) 午前11時から午後5時まで。  
場所：日系文化会館

入場料:新移住者協会・日系文化会館会員 \$5、会員家族 \$12 (大人2人に12歳以下の子ども3人まで)、非会員 \$7、非会員家族 \$16、シニア・子供(12歳以下) \$4、6歳以下の幼児は無料。

詳細は長石: 416-644-1240

または三浦: nobbymcosmic@yahoo.co.jp

「にゅうすれたあ」編集責任者 森貞一弘

原稿の送付先 doit4joy@hotmail.com